

島根大学 くにびきジオパーク・プロジェクト 探訪会

第4回 地下（黄泉）世界への探訪：大根島

夜見の島を背に入海に浮かぶ島影：世に問う新仮説

2014年8月23日(土)

島根大学くにびきジオパーク・プロジェクトセンターでは、出雲の地を「くにびきジオパーク」として、日本ジオパークの認定を目指して取り組んでいます。

出雲風土記に、日御碕に棲んでいた大鷲が、蛸をくわえて飛んできて、大根島へ落としたという記述があり、大根島がタコ島と呼ばれた由来となっています。それからタコ島は大根島へと名を変えていくのですが、地質学の面から見ると、大根島は日本列島の内部にある火山島です。今回の探訪会は、その大根島を訪れ、出雲神話への思いと、火山島としての大根島の魅力の一つである溶岩洞窟や、島根県名水百選に選ばれた湧水などを見て歩きます。人々の黄泉の国への思いと神話を導いた自然の力とはなんなのか、触って、見て、心で感じます。



日 程： 8月23日(土) 10:00 - 14:00

集 合： 島根大学 9:20 (9:30 出発)

対 象： 大学生学生，一般

定員： 先着 40 名

交通： 島根大学が手配するバス

参加費： 昼食代（900 円），リクリエーション保険（100 円）

持ち物・服装： 飲料. 歩きやすい服装と運動靴を着用.

行程： 島根大学（9：30） → 八束町公民館（10：00 着） → 大根島火山の特徴（大塚山展望台・湧水）（11：00） → 第二溶岩洞窟（11：50） → 八束町公民館（12：00 着） → 昼食（12：20 まで） → いにしえの大根島（門脇延雄氏 12：30～13：30） → 八束町公民館 発（13：30 発） → 島根大学（14：00 着）

見学地とそのみどころ：

○大根島 溶岩洞窟

【リーダー：門脇和也氏（島根県自然観察指導員）・沢田順弘（島根大・元教授）：新部一太郎氏（島根大・生物資源科学部）】

- ・溶岩洞窟の自然史
- ・大根島玄武岩とその形成（20 万年前の噴火の様子）
- ・珍しい地下性甲虫の生態

○古事記・出雲風土記の世界

【大根島語り部 門脇延雄氏（八束町公民館・元館長）】

- ・出雲国風土記ではほとんど語られていない闇見国とは
- ・黄泉の国への入り口
- ・出雲国風土記に記述された「タコ島」「ムカデ島」の解釈

★ いにしえの大根島について、その地名の解釈と地形・地質の自然観とが一体となった新しい大根島仮説が生まれました。

申込方法： 申込〆切 8 月 20 日（水）

ハガキ，FAX または e-mail で参加希望者の住所（郵便番号）・氏名・年令・電話番号を記入の上，下記に申し込んでください。現地集合も可能です。

（リクリエーション保険をかけますので参加希望者全員の氏名，住所と年令を記入してください）。

〒690-8504 松江市西川津町 1 0 6 0

島根大学教育学部自然環境教育 辻本 彰 まで

Tel/Fax： 0852-32-9876

e-mail : tsujimoto@edu.shimane-u.ac.jp

主宰 島根大学くにびきジオパーク・プロジェクトセンター
共催 教育学部自然環境教育講座 総合理工学研究科地球資源環境学科
島根大学COC事業 風土記を訪ねる会
後援 松江市

探訪会の内容は

<http://kunibiki.noomise.com/>

に掲載してあります。